

3学年だより

# 夢の宅配便

 3平学年主任  
 水野 喜代治

## 「令和6年がスタートしました」

新年「辰年」がスタートしました。今年はあなた方にとって、新しい高校生活のスタートでもあります。中学校の生活は残り約2か月です。この2か月の一日一日を大切に過ごしていきましょう。

小学生の時は、卒業してほとんどの人がそのまま城山中学校に進学してきました。しかし、中学校を卒業するとそれぞれの道に羽ばたいていくことになります。私自身も中学校を卒業して以降いまだに再会していない友達はたくさんいます。中学時代に毎日のように遊んでいた友達で、卒業後、再会していないし連絡も取り合うことができなくなっている人もいます。これからは、それぞれの人が自分の道を歩んでいきますので、めまぐるしく新しい人と出会い、次々に多くの人と別れていくことになります。いままでのように、定まった人間関係の中で生活していくことはありません。3月には約100人の友達や先生と別れ、4月には100人を超す友達や先生方と出会うことになるでしょう。たくさんの方と出会ってください。その中で、あなた方は自分らしく成長していくはずです。多くの人と出会うことが自分の個性を確認することになると思います。素晴らしいですね。生きていくということは！



残りの2か月は、目の前の友達や仲間の絆を大切にしてほしいと思います。出会った人で意味のない人は一人もいないと思います。例えばお互いのことが理解できなく、仲良くなれなかった人とも、それはそれで意味があるのです。2か月間、仲間のこと友達のことを常に意識して生活していきましょう。その気持ちがあれば新しい環境で新しい人との出会いを作れるはずですよ。

私は、西湘高校に進学して学年で450人の生徒が在籍していましたが、男子生徒の400人とは全員と話して友達でした。真面目でおとなしい生徒からちょっと非行でツッパリで非行傾向の生徒までみんなと友達になりました。中学生の時に「出会いを大切にしてください。」と話してくれた先生の言葉が胸に響いて、私は出会った友達との絆を大切にしようと思ったからです。

人との絆は人生を豊かにしていきます。小田原市役所横のラーメン屋さんの「雪だるま」に初めて食べに行った時のことです。「このラーメンおいしいな！」と思って、ラーメン屋さんに声をかけようと厨房を見ると、そこに、昔、ちょっとやんちゃしたなという感じの店主がいました。よく見ると西湘高校時代の同級生でした。「府川だよ、喜代治です。ラーメンおいしいね」と声をかけると「おー、水野か。ありがとう！お前は今、何やってんだよ」と高校生の時に戻った口調で懐かしそうに話しかけてきました。「今、城山中学校で先生してるんだよ」と言うと「お前が先生かよ。何教えられんだよ。悪いこと教えるなよ」と笑いながら答えてきました。「一人ぐらい、俺みたいな教員もいないとダメなんだよ！」と言いつつ「そうだなー。まったくだ」とお互い笑いました。一瞬にして高校時代にタイムスリップしました。ラーメン好きな私は、月に何回かは雪だるまにラーメンを食べに行きます。小田原で一番好きな札幌ラーメンを食べに行くと、会計の時にいつも「まだ先生やってるのか、頑張れよ」と声をかけてくれます。府川にも「おいしいラーメン頼むよ」と声を掛けてお互い笑って別れます。絆はいつまでもどこまでも繋がります。だから、自分から切ってはいけません。絆を大切に。

























